

武者一雄 （たけひと） 小説家。大正五年一月一日群馬縣安中生まれ、平成二十  
 年十二月十七日歿（一九六一年〇〇八）。本名中村一雄。高崎高等學校、駒  
 澤大學を卒業して福井の水本寺で修行中口集を受け、北支、南方を轉戦、  
 ビルマで終戦となる。収容所では古筆で以知（戦後東京フイルマーモ  
 ニーが音楽團團長に理事となつたヴァイオラ奏者）を中心となつて編成し  
 たコーラス隊に加はり、唯一人の僧侶隊員であつたことから竹山道雄  
 作『ビルマの堅琴』（昭和二十二年二月十五日中央公論社）と名づかれ  
 『文庫』の主人公が馬上等兵のモデルと自認した。復員後群馬県官立  
 住職の傍ら小説家（書名）、同人雑誌『新現實派』、『鶴』等の編集。ま  
 た自らビルマでの終戦實録『生きたビルマの堅琴』（昭和二十一  
 年十月）『二十日』妙義出版株式会社）を著した。

